

<b>会 議 要 旨</b>	
◎会 議 名	第 31 回合志市中小企業等活性化会議
◎開 催 日 時	令和元年 12 月 12 日（木） 10 時～11 時
◎場 所	合志市役所 2 階大会議室
◎出席委員	池永幸生会長・池永けいこ委員・松崎由紘委員・坂井秀明委員・鈴木憲治委員・峯隆吉委員・出家健治委員・松岡正弘委員・岩岡俊宏委員・松本真理委員・齋藤正昭委員・岡田竜太郎委員
◎欠席委員	後藤一利副会長・穴井憲義委員・野見山秀樹委員・坂井さゆり委員・工藤一伸委員・高島圭二委員
◎出席者	《事務局》松田課長・九重課長補佐・宮崎（記）
◎議 題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 1) 新年度以降の新たな取組みについて ・合志市と九州経済産業局との連携強化について ・合志市の創業支援について 2) 優良中小企業表彰推薦について 4. 閉会

**【開 会】**

（事務局：九重課長補佐）

皆様こんにちは。定刻になりましたので、会議を開催いたします。まずはあいさつではじめますのでご起立をお願いいたします。

こんにちは。

ご着席ください。

（事務局：九重課長補佐）

本日の進行を務めます事務局の九重と申します。よろしくお祈いします。

それでは、次第に沿って進めます。まずは会長挨拶となっております。池永会長よろしくお祈いします。

（池永会長）

皆様こんにちは。12月の暮れも押し迫った中に委員の皆様にはご出席いただきありがとうございます。議題は2つ挙げております。その一つが創業についてです。10年前は710者程度だった事業者が今では760者と増えております。これをみましても合志市には素晴らしいポテンシャルがあるのではないかと考えております。今年度も残り少ない日にちとなりましたけれどもこの会議で活発な意見が交わされることを期待して挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしく申し上げます。

(事務局：九重課長補佐)

ありがとうございました。それでは次第にあります議題に移りたいと思います。ここからの議事進行につきましては、中小企業等活性化会議設置要綱の第6条第2項の規定により、議長は会長が当たるとなっておりますので、池永会長、議長をよろしく願いいたします。

### 【議 題】

(池永会長)

それでは議題に移りたいと思います。まず、議題1についてです。新年度以降の新たな取組みとして、「合志市と九州経済産業局との連携強化」について事務局より説明をお願いします。

(岡田委員)

皆様こんにちは。合志市産業振興次長の岡田です。本日は議題にあります合志市と九州経済産業局との連携強化について説明させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

～ 別紙資料「九州経済産業局と合志市の連携強化について」説明 ～

(説明要旨)

- ・ 経済産業省が基礎自治体との更なる関係構築・連携強化を進めている。
- ・ 九州経済産業局においても地域内で産業政策の浸透を図ることを目的に基礎自治体との連携強化を進めている。
- ・ 本市においては、他地域への有効なモデルケースとなる可能性も高いことから、連携モデルづくりに向けたキックオフミーティングを11月5日に行った。
- ・ 本市が九州で初めて九州経済産業局と基礎自治体の連携強化についての記者会見を行った。
- ・ 今後、協力事業として、創業、農商工等連携、ヘルスケア関係の分野を中心に進めていく。

(池永会長)

連携協定についての説明でした。ただいまの説明について質問などありませんでしょうか。

(池永会長)

ないようでしたら、次に「合志市の創業支援について」事務局より説明をお願いします。

(事務局：宮崎)

合志市商工振興課の宮崎と申します。議題であります、「合志市の創業支援について」説明いたします。

～ 別紙資料「合志市の創業支援について」説明 ～

(説明要旨)

- ・市で創業支援を実施しているものの、創業者の全てを把握することは難しいのが現状。
- ・次年度より、市商工会や保証協会等と一体となり、創業支援を実施する。
- ・令和2年2月には九州経済産業局との連携強化事業の一つとして、ルーロ合志にできるコワーキングスペース活用セミナーを実施予定。

(池永会長)

ありがとうございました。このことについて何か質問はございますか。

(事務局：松田課長)

質問の他に本市の中小企業の課題等含めて、今後どういった方策が必要じゃないかとかございましたら、ご意見をいただければと思います。近々の課題としてはまだまだ人材不足等が考えられるかと思えます。事業者の方にお話を聞きますとなかなか人が集まらないといった声も聞きます。また、熊本地震の復興需要もこれから無くなっていくことを考えると、そういったことを含めて今後どういった方策が必要であるかご意見を伺えればと思います。よろしく願います。

(鈴木委員)

この創業支援はとても魅力的だと思うが、事業者の事業認定は誰でもすぐとれるのか。

(事務局：宮崎)

市創業支援の事業認定については、創業予定者が商工会等の創業支援機関と一緒に創業後の事業計画を作成してもらい、商工会の証明を受けた創業者に対して事業認定する予定です。

事業計画はすぐに作成できるものではありませんので商工会のフォローを受けながら随時提出していただく予定です。

(池永会長)

委員として商工会の松岡指導員がいらっしゃいますけれども、手続き等、事務作業が増えると思えますが商工会に余力があるのか、もしくは市の補助事業に商工会の関わり方についてどうお考えでしょうか。

(松岡委員)

商工振興課の宮崎さんから創業支援についての説明がありましたけれども、実際創業をされて事業を続けている事業者が少ないです。

1年以上継続する事業者は半分くらいだと言われています。ただ、成功する事例も多くありまして、その成功する確率をいかに上げて、そこでどういう風に収入を上げて、市への税収の貢献をしてもらうのか。また、今創業セミナーを2回に分けて開催しておりますけれども、1回目については創業の心構えというところから入っております。そのセミナーでは国の支援機関や保証協会や税理士等の専門家に来てもらい時間をかけて参加者に対して事業計画の作成や原価計算の方法など個別的な支援を行っております。今回市にこういった方法で支援してもらえるならばとても創業者にとっても良いことと思います。商工会としても市の創業支援が効果的な事業となるよう是非協力していきたいと思います。

(池永会長)

セミナーは年に2回ですか。

(松岡委員)

はい。今年は7月の平日に5日間と9月の土日2日間で同じカリキュラムを実施しました。今年は昨年と違い7月の平日に実施した方の参加者が多く、平日休日どちらが多いかわからない状況ですので、しばらくはこういう形で受講する機会の提供をしていきたいと考えてます。

(池永会長)

ありがとうございました。どこでも同じと思いますが商工会の立場からすると会員を増やすことが課題でありますので、市と連携して創業支援をすることは良いことかと思えます。

また、委員さんの方から他にこうしたら事業活性化になるという意見がありましたらお願いします。

(峯委員)

従来の仕事ではなく、新規事業を立ち上げた場合は創業補助金の対象になるでしょうか。

(事務局：宮崎)

創業補助金等の金融支援については創業者を対象にしておりますので、すでに創業している事業者の方が新規事業を立ち上げる場合については対象にはなりません。

(鈴木委員)

峯委員が新規会社を立ち上げる場合は対象になりますか。

(事務局：宮崎)

その場合は創業になりますので対象になります。

(松岡委員)

今の話で補足しますと、新事業展開ということで新たな事業に取り組むということであれば

経営革新の計画の認定を取得すると良いのではないかと思います。経営革新というのは新たな分野の取組の計画を作成したものを熊本県が認定します。認定企業を対象とした融資制度等の優遇措置もありますし、会社の信用度も増しますので経営革新の制度を利用していただけだと思います。経営革新の計画書を作成すると、それをもとに国のものづくり補助金や持続化補助金の申請に活用できたりもします。市内の事業所も認定を取られているところもあります。

(池永会長)

岡田次長、今の件について何か補足ありますでしょうか。

(岡田委員)

経営革新については、今のおりだと思います。また、今回九州経済産業局との連携があるので、峯会長の質問に関して言いますと、連携事業のひとつに農商工連携事業もありますので九州経済産業局の関係部署と合志市と一緒に峯会長の新規事業を支援していくこともできると思います。

また、この分野に該当しない設備購入の補助に関していうと、ものづくり補助金を取りに行くほうがいいと思います。ものづくり補助金であれば新たな事業に取り組む場合に革新的な機械設備を導入し、生産性向上をするといったことに使える補助金となっております。

ものづくり補助金は来年度も実施される予定で、近年ではサービス業の方でも内容によっては対象になりますので、申請までの導きとして、商工会や市、九州経済産業局が関わっていくような支援ができればと思います。

(池永会長)

ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

(出家委員)

今、喫緊の問題が合志市にあると思います。例えば、人材不足であったり、事業承継、外国人労働者の雇用など問題を市の計画で反映させて解決していくことも考えていくほうがいいのではと思います。

(池永会長)

ありがとうございます。今のはご意見ということでよろしいでしょうか。事務局は今の意見を参考に事業を進めていただければと思います。

(池永会長)

他に何かありますでしょうか。ないようでしたら次の議題である「優良中小企業表彰推薦について」に進みたいと思います。これに対しての説明を事務局からお願いします。

(事務局：九重補佐)

それでは議題②の「優良中小企業表彰推薦について」説明いたします。

～ 別紙資料「優良中小企業表彰推薦について」説明 ～

(説明要旨)

- ・市内産業の振興や地域経済の活性化に特に寄与している企業を表彰する制度。
- ・本制度によって、中小企業や従業員の励みとし、また市内企業に対する理解を深めるとともに、優れた取り組みを他の企業へ紹介することで、本市産業全体の活性化を図ることが目的。
- ・今年度も市商工会と市企業連からそれぞれ1社推薦してもらう。
- ・次年度それぞれの団体の総会で表彰する。
- ・次回の2月予定の活性化会議で推薦企業の内容審査を行う。

(池永会長)

この表彰制度について質問はありますか。

(鈴木委員)

各団体から推薦はあっているのでしょうか。

(九重補佐)

現在、各団体に推薦の依頼をしているところです。次回の活性化会議では皆様に推薦企業をご紹介します、審査していただきたいと思います。

(池永会長)

他に何かありますか。

(松本委員)

ものづくり補助金のことでも聞きたいのですが、補助金を取れた場合、実はその後が国への報告等の書類作成が大変なんです、そういった支援や相談先は商工会でしていただけるのでしょうか。

(松岡委員)

もちろん市内事業者さんですので、相談があれば対応させていただきます。

(池永会長)

他に何かありますか。ないようでしたら全ての議題を終了いたしましたので司会進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

(事務局：九重補佐)

池永会長ありがとうございました。本日の議事内容については市のホームページに掲載いた

します。

また、次回の開催については来年2月頃を予定しておりますので、委員の皆様にはまたご案内いたします。

それではこれもちまして本日の会議を閉会いたします。

皆様お疲れ様でした。